

人に優しい道路づくり

雨天時、孫の保育園送迎時に傘をさし抱っこし荷物を持つての移動や小児科へ行く時など大変苦労した。

また、雨天時は徒歩や自転車の通勤・通学する者が公共交通機関に転換したり、自家用車への通勤手段の変更により電車バスの混雑や道路渋滞も発生しているため考えたものである。

1. はじめに

我が国は、未曾有の人口減少、少子高齢化の加速化、地球温暖化などさまざまな問題を抱え、地方公共交通や医療・福祉・介護など生活に不可欠なサービスの利便性が低下し、地方における人口減少・流出の悪循環につながっている。

そのような社会情勢の中で、人口減少に歯止めをかけるためには、少子化対策が喫緊の課題で有り、若者世代の結婚や出産後も仕事を継続しキャリアを積む女性などを支援するなどの包摂社会の実現に向けた地域づくりが必要となっており、子育て世代や高齢者など誰もが安全・安心に暮らせる環境整備が必要である。

2. 課題

出産後に女性が仕事に復帰等するためには、子供を保育園等にあずける必要がある。子供を保育園にあずけるために、子供の着替えやおむつなど多くの荷物を持ち子供を連れて行かなければならないためベビーカーなども利用している。

そのため雨の日は、子供を抱っこし、多くの荷物を持って保育園にいかねばならなく苦労している。また、雨の日は多くの人が傘をさして歩くため通行が円滑にできない。

また、高齢者は筋力の低下などにより雨天時の傘をさし荷物を持った歩行にも苦慮する方も少ない状況である。

さらに、雨の日車で送迎する場合においても天候が悪くなると自動車利用が増加し、自転車利用が減少している状況である。

基礎分析 | 天候別移動手段【豊洲】

Basic analysis

Representative transportation by weather in Toyosu



・天気が悪くなるにつれ自動車利用が増加、自転車利用は減少している

Car use increases as weather worsens, bicycle use decreases

愛媛大学 交通手段選択 抜粋引用

地球温暖化の影響もあり夏場の外出・移動は、老若男女問わず通院・通園や買い物等の暑さによる出控えなどの課題もある。

3. 対策案

①歩道の屋根設置

全歩道に屋根を付けることにより天候に関係なく通行でき、傘等による通行のしづらさもなくなり雨天の渋滞も軽減でき、高齢者も天候に関係なく外出しやすくなり健康増進につながり医療・福祉等も受けやすくなる。

また、雨の日や夏の暑い時の子供の送迎等もし易くなり子育て世代への負担軽減となる。併せて暑さ対策と屋根からミス水の散布を行う。

②優先対策場所

【優先的整備区間】

- 保育所・幼稚園等と駅・バス停等の公共交通機関等を結ぶ区間
- 病院・介護施設等と駅・バス停等の公共交通機関等を結ぶ区間
- 駅・バス停等の公共交通機関等と市役所等公共施設への区間

【歩道部屋根イメージ】



【国道 220 号 宮崎市橘通り】



【国道 220 号 宮崎市橘通り】



【九州大学病院歩行者通路】



【九州大学病院歩行者通路】

4. 効果

- ①子育て世代の保育所・幼稚園等の送迎の負担軽減が図られ子育てし易い環境が向上する。
- ②天候に左右されず外出が円滑になり健康寿命の効果が向上する。
- ③雨天時の自転車等の通勤者が自動車等への移動転換が減少し渋滞が緩和する。